

# 大山商事

# 作業半径21mのフックスMHL380を導入



日本に初登場のフックスMHL380

大山商事(本社：大分県大分市豊海2-4-4、大山芳三社長)は、創業が昭和15年と長い歴史を持つ、大分県を代表するスクラップディーラーだ。この伝統を持ちながらも、時代の先を読み新しいものを取り入れつつ発展してきた。CSR(企業の社会的責任)に対しても積極的に各種の活動を行っている。その同社は「このほど、スクラップ運送船の大型化を視野に入れ、フックスMHL380を導入した。作業半径は21mと、日本でも初となる大型の重機で、同社のヤードにて活躍している。」

大山商事は、常に未来を見据えている企業だ。法令遵守やCSR(企業の社会的責任)が取り上げられるようになった頃よりもずっと前から、「社会に迷惑をかけるな」ことを前提に、社会ルールを守り、創業時からヤード周囲の清掃を欠かさないなど、近隣に気を配る風土を作り上げてきた。

またリサイクルの現場を直接見ることが出来る展望台や専用の教室など学習用の施設を整えているため、最近では学校の社会見学の見学も多い。そして同社もこれを積極的に受け入れており、多

い時には、月に4~5件のペースになるという。

「リサイクル教室」を設けている。ここで映像などによりリサイクルの流れを学んだ後、実際に鉄スクラップの現場を併

## 先行投資は常に未来を先取り

その同社にこのほど、世界で唯一スクラップ専門の重機を製造しているフックス社のローディングマシン「MHL380」が加わった。

この重機の特長は、全体を支える下層ホイール部分が溶接無しの一体型という構造と、旋回部分がその下層ホイールの中に来ている設計だ。このため重心が非常に安定しており、冬作業がスムーズに行えるという強みを備えている。基本設計か

らローディング用として設計されている、世界で唯一の機械だ。導入の理由は、「完全な先行投資」とのこと。常に未来志向を行く同社ならではの発想だ。「今のところは、既存

設の展望台から見ると、非常に頭に入りやすい。こうした点が教育関係者にも好評で、口コミでその良さが広がることも、翌年に再び訪れる学校も出てきている。数年前、工場見学の申

し出があった際、当時の安全面の関係から断らざるを得なかった。この時の子供の残念そうな声が大山満子専務の頭から離れず、これが現在のリサイクル教育のための施設を作る動機となった。構想を持ち続けること数年を経て、昨年、無事にこの施設が完成した。



←MHL380の作業中の様子。やや小ぶりに見える遠方の重機はMHL360。

大山商事の本社→事務所棟。2階の丸い部分が展望台。

設備で充分間に合っている。だが、将来的には、スクラップの輸出先も韓国や中国から、もっと南の方へ、インドやベトナムといった遠方の地域に移っていく可能性が高い。その場合には船舶の大型化が避けられない」との見通しを同社は持っている。今後のために、現時点からそれに見合った重機を所有し、来たるべき状況に備えている。

MHL380の作業半径は21mと、スクラップを扱う重機でも最大級の大きさだ。日本では1号機となり、世界でも導入しているところはまだ少ない。

大きな設備投資は一段落した大山商事だが、これからも未来を見据えた経営方針に変わりはない。地域社会にとり、そして同社で働く従業員にとっても、さらに魅力的な企業へと成長するため、常に時代を先読みしながら努力を続けている。

## — 世界トップのスクラップ専用機械メーカーの製品をお届けします —

ドイツ製フックス社(TEREX/FUCHS)	イタリア製シエラ社(SIERRA)	フランス製セーラム社(SERAM)
 <p>マテリアルハンドリング機</p> <p>基本設計からスクラップのローディング用として設計されている世界で唯一のマシンです。</p>	  <p>移動式ギロチン兼用プレス      準移動式ギロチン兼用プレス</p> <p>切断とプレスの両方が可能な移動式・準移動式ギロチンシャーです。イタリア生まれで米国では60%以上のシェアを誇ります。スクラップ事業者がマネジメントし、現場の声を生かした機械です。</p>	 <p>タワークレーン</p> <p>世界で唯一、油圧と電気によりバランスを制御したタワークレーンです。ポールを立てる基礎工事は必要ありません。</p>

## F&J フックス・ジャパン株式会社

神奈川県横浜市磯子区森4丁目7番10号 GRビル4階 Tel: 045-750-5515 Fax: 045-750-5516  
 札幌営業所 Tel: 011-512-6116 Fax: 011-512-4328  
 E-Mail: hidetsuka-shimomura@nifty.com